

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動 推進協議会だより(平成28年6月号)

〔第2次ステージ運動スローガン〕

高めよう安全意識 加速させよう復旧・復興 達成しようゼロ災害

平成28年6月末建設業の災害速報 ほとんどの工事業で増加傾向となりました！

平成28年6月末の全産業の死傷者数（休業4日以上）は、1,058人と前年同期比で81人（+8.3%）と増加しています。建設業は、194人と対前年同期比で31人（+19.0%）と増加し、各工事業の種類分類では、「その他の建築工事業」以外のすべての工事業で増加となりました。

また、死亡者数は、全業種で10人と前年同期比で2人の増加となっており、建設業では3人と前年同期比で3人と大幅に増加しています。

前年度の減少傾向から、一転して増加となっており、今後の現場の安全管理の強化が求められます。

（詳細は、宮城労働局HP（災害統計）に掲載予定です。）

死亡災害速報（平成28年6月発生分）

宮城労働局管内

①建設業

工場敷地内でジブクレーンを使用し、構内運搬用のトラックに鉄筋束の積み込み作業をしていたところ、鉄筋束がトラック荷台上で玉外しのため待機していた労働者に衝突した。

この衝撃で被災者は荷台から鉄筋を置いてた床面に墜落し、さらに上方から鉄筋束が落下し、腹部をはさまれた。その後、7月に入り死亡したものの。

②林業

立木を伐採中、木が予定とは反対方向に倒れ、高圧電線にかかり、伐木を担当した作業員が感電により死亡したものの。

平成28年度「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会」の開催について

現在、宮城労働局では「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動」を3年間延長し、第2ステージとして展開中です。建設業における労働災害ゼロに向けた意識の高揚を図り、早期復興に寄与することを目的として「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会」を下記により開催予定としております。多くの建設業関係者が参加されますようお願い申し上げます。

詳細は、後日、建設関係団体を通じご連絡する予定ですが、7月下旬には、宮城労働局ホームページにも掲載する予定としておりますので、そちらを御覧ください。

記

1 日時：平成28年9月6日（火） 13:30-16:30

2 場所：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）
仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会
（事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課）

第89回全国安全週間「みやぎ」スタートセレモニーを開催

宮城労働局では、全国安全週間を契機に関係者の一層の労働災害防止対策の強化を働きかけるため、6月29日に第4合同庁舎において、スタートセレモニーを開催しました。

監督署職員、関係団体等から約50名が参加し、各持ち場での安全パトロールの強化や労働災害防止活動の活性化に向けてさらなる努力を行うことを確認しました。

引き続き、仙台駅東口に建設中のホテル新築工事現場のご協力を得て、公開安全パトロールを実施しました。仙台労働基準監督署職員、東日本大震災復旧復興工事労災防止宮城県支援センター指導員、建設業で働く女性で結成された「宮城建設女性の会」の皆様の多角的な視点で安全点検を実施しました。



局長よりメッセージ発出



公開安全パトロールの様子

「宮城労働局長メッセージ」

全国安全週間は昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度の中断もなく続けられ、今年で第89回を迎えます。

県内の労働災害は、長期的には減少傾向にあります。東日本大震災を機に建設業を中心に大幅に増加しました。その後、多くの関係者の皆様の御協力もあり「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動」などが展開され、膨大な関連工事が施工される中、建設業の労働災害件数は平成25年から3年連続減少させることができました。

また、労働災害を20%減少させるなどを目標に、現在、「第12次労働災害防止推進計画」を推進しておりますが、様々な取組が行われたこともあり、製造業や陸上貨物運送業でも、昨年まで減少傾向を維持することができました。しかし、本年に入り、5月末の段階で県内の労働災害は、前年同期に比べ、全産業では9%の増加となっており、製造業25%、建設業18%、陸上貨物運送事業11%、さらには商業でも19%と主要産業で大幅に増加に転じている状況となっています。

このような背景には、事業場における安全衛生への取組がマンネリ化し、停滞している懸念があります。

労働災害の防止は事業者の責務であり、この責務を全うするには、何より経営トップが労働者の安全と健康の確保を自らの問題として認識し、率先してこれに取り組む必要があります。

全国安全週間に際して、県内各事業場の経営トップの皆様をお願いします。

第一に、安全への所信表明を通じて関係者の意思統一及び安全意識の高揚を図ってください。

第二に、安全パトロール等による職場の総点検を実施してください。

第三に、安全衛生委員会等が労働災害防止について調査審議しているか、安全管理者等の職務が履行されているか確認し指導してください。

安全で健康に働くことは企業の力の源泉であり、家族が安心して暮らせる大前提です。

労使が一体となって、安全活動を一層活性化していただきますようお願いいたします。

最後に、皆様のますますの御健勝と御発展を祈念申し上げ、全国安全週間の私のメッセージとさせていただきます。

平成 28年6月29日

宮城労働局長 尾形 強嗣

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会
(事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課)